

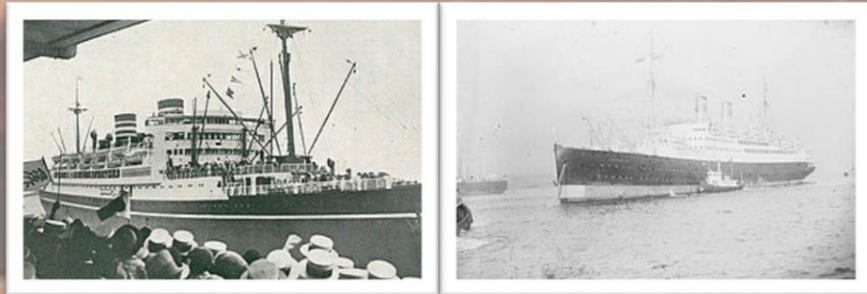
木琴デイズを紡ぐ 関係年表

平岡氏の木琴との出会い

平岡養一氏



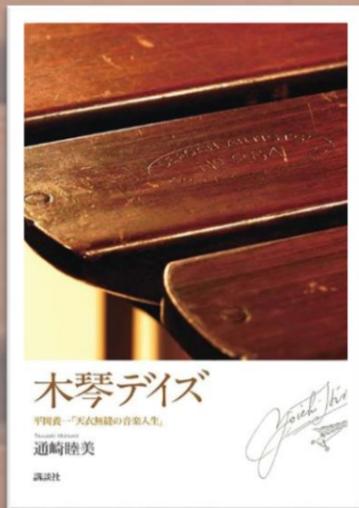
通崎氏のご自宅の資料
演奏会のパンフレットなど



平岡氏が乗ったグリップスホルム号（左）と浅間丸（右）



銘仙を紹介した通崎氏の著作『ソデカガミ』



演奏会に関連する通崎氏の著作。『木琴デイズ』

通崎睦美氏

・5月、京都市に生まれる。

・11月、全国93か所で行われた「平岡養一・木琴人生」京都公演のステージで平岡氏と通崎氏が同じ舞台に立つ。

・5月、アサヒビール大山崎山荘美術館で「通崎睦美 選展 通崎好み」展覧会を開催。

・平岡氏の木琴を受け取る。

・「よみがえる船上の木琴コンサート」で、70年前日米交換船上で平岡氏が弾いた曲を演奏。

1907 (明治 40)

・兵庫県武庫郡須磨村東須磨（現在の神戸市須磨区東須磨）に生まれる。

1928 (昭和 3)

・5月に帝国ホテル演芸場で初のリサイタル。

1930 (昭和 5)

・渡米。

1931 (昭和 6)

・3月から日曜を除く毎朝、戦時交換船で帰国するまでの11年の長きにわたってNBCラジオに出演し、木琴の生演奏を行う。

1936 (昭和 11)

・12月にニューヨークタウンホールでリサイタル。好評を博し、演奏家として認められる。

1941 (昭和 16)

・12月、日米開戦。自宅待機となる。

1942 (昭和 17)

・日米交換船となったグリップスホルム号、浅間丸を乗り継いで、8月に日本に帰国。
・帰国直後にビクターと契約。
・12月、日比谷公会堂にて「平岡養一帰朝第一回独奏会」開催。以後も旺盛に活動。

1943 (昭和 18)

・マニラで開催された、フィリピン独立記念大音楽会に参加。

1945 (昭和 20)

・8月、敗戦。
・9月には演奏活動を再開。

1951 (昭和 26)

・TBSラジオの三越提供番組に出演。三越本店などでも演奏。

1962 (昭和 37)

・10月、カーネギーホールでリサイタルを行い、大成功を収める。

1963 (昭和 38)

・9月、一家でニューヨークに移住。以後、日米を往復して活動。

1967 (昭和 42)

1977 (昭和 52)

1981 (昭和 56)

・7月、アメリカの自宅で死去。

2004 (平成 16)

2005 (平成 17)

2012 (平成 24)

2017 (平成 29)



通崎氏が受け取った平岡氏の木琴



展覧会等で注目される通崎氏の銘仙着物コレクション